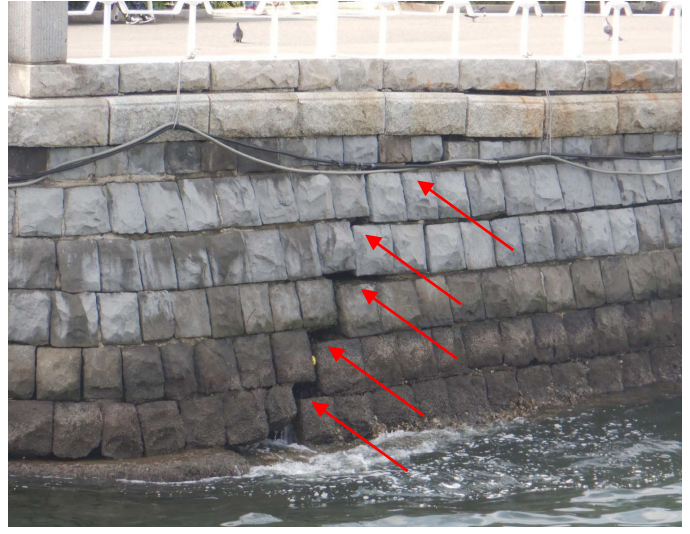


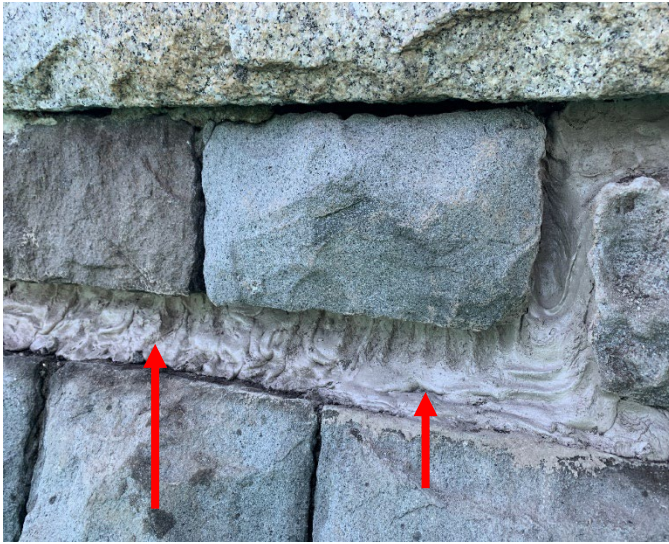
### 補修箇所

赤矢印ブロックの隙間へEagle8を充填。2021年12月実施。



施工後

赤矢印部 Eagle8充填部。流動性を抑えEagle8を充填。



### 施工方法

- ①隙間に碎石を投入。前面より突き込む。
- ②ブロック表面より、約10cmEagle8を充填する。  
Eagle8の混練では、練水の量を調整し、流動性を抑える。  
ヘラ、鏝などで充填する。  
厚みを維持するために、重ね打ちをする。  
(プライマー不要で、打ち継ぎ・重ね打ちが可能。)
- ③工事予定外の隙間にも充填された。

弊社は、工事前にEagle8の練り方の手順などを実演によりご説明し、工事には立ち会っておりませんが、水と混ぜ合わせるだけで工事可能です。

Eagle8は、耐塩性があり劣化に強い材料です。万が一再補修が必要となりましても、上から塗り重ねるだけでメンテナンスが可能な材料です。